

「公共工事コスト縮減対策に関する新行動指針」

【 施策名： (1) 工事コストの低減 1) 工事の計画・設計等の見直し ③ 設計方法の見直し 】

角型多条管の採用によりコスト縮減

工事名：平成18年度国営木曽三川公園江南地区施設整備工事

概要：(従来)
FEP管

⇒

(新)
新技術「角型多条管」の採用

効果：

① FEP管から角型多条管に変更し、離隔の縮減と集束施工により施工断面の大幅な軽減と周辺植栽に与える影響を最小限に抑えることが可能となった。多条管は、軽量で曲り癖がなく、可とう性があり、管の取扱が容易で施工性に優れており工期短縮においても優位である。

■ 埋設管敷設工事費を、7.6百万円から3.4百万円に縮減。
(縮減額 4.2百万円、縮減率 約55%)

